



子どもからのSOS
見逃さない取組みを

問 不登校対策としてハートフルルームやサテライトスペースが新たに設置されるが、利用手順や周知方法は。

答 本人の意思を尊重し保護者の意思確認をした上で、担任やSSW*などの意見も踏まえ校長が認める。周知は保護者へリーフレット等で行う。

再発言 子どもたち自らがSOSを発する手段が足りない。タブレット端末を使った個別相談窓口の取組などの推進を。

地震等に備え災害対応の
井戸登録・管理の検討を

問 全国では災害時に使用する井戸を事前に登録する制度等がある。本市での検討は。

答 災害時には重要な水源となるが、様々な課題もあるため、調査研究していきたい。

延命公園整備で
経済の活性化を

問 総合体育館オープンや動物園整備の機会を活かし、経済効果にどうつなげるのか。

答 大会参加者や観覧者、動物園の来園者等が市内を回遊することは非常に重要であるため、今後検討していきたい。

再発言 整備を進める前からの情報発信や取組を要望する。

*SSW…スクールソーシャルワーカー



有害鳥獣対策について

問 令和6年度の有害鳥獣対策費が大幅に増額されるが、その内訳は。

答 対策と体制の両面から強

化を図る。通年での捕獲対応のため猟友会への委託費や農業者が設置する侵入防止柵等の資材購入費補助の増額、箱わなの増設や地域おこし協力隊活用に関する委託費、専用車両に関する経費などを新たに計上している。

問 2月にイノシシ対策の説明会を開催されたが、出没状況やその要因、対策方法などを広く共有するため今後も開催していただきたいが。

答 今回の参加者の感想等も踏まえながら、開催場所や回

数、方法等を検討していく。

地域コミュニティの
今後の在り方について

問 地域コミュニティの今後の在り方に関する提言書が出されたが、今後の対応は。

答 提言に基づき、地域コミュニティの活性化につながる施策について検討を進め、地域と協働して取り組んでいく。

再発言 加入率の低下、担い手不足解消に繋ぎ、持続可能な地域コミュニティが形成されるよう対策を講じられたい。



歳をとっても安心して
生活できるまちに

問 訪問介護の基本報酬引き下げによる影響は。

答 人材不足と物価高騰が続く中のマイナス改定について、

在宅介護の要となるサービスの持続可能性を危ぶむ声があることは、承知している。

問 第9期の介護保険事業計画において、保険料基準額を月額6,000円とした経緯は。

答 基準額については、試算では6,453円だったが、保険料上昇の抑制のため基金を取り崩し、基準額を引き下げた。

問 市内の孤独死の数は。

答 独り暮らしの方が何らかの要因により自宅内外で亡くなった数は、令和5年1月から12月までで83人。うち65

歳以上が60人となっている。

問 訪問介護の崩壊の危険すら招くような今回の報酬改定だが、地域や自宅で安心して生活できるまちの実現には、相当な努力とお金が必要になるが、どのようにお考えか。

答 高齢者の見守りについては、本人の意向を踏まえながら、関係機関と協力・対応をし、支援につなげている。

再発言 自宅で事実上放置されているということにならない地域包括ケアシステムの構築を求める。